

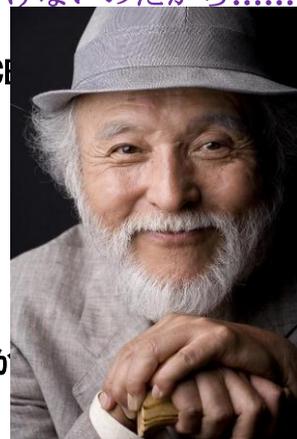
『宇宙船地球号』は持続可能か

現代の私たちは、地球という孤立した島に住んでいる。

第6の波は人類に行動を求めている。

わたしたち自身のためではない。わたしたちの子供、孫、これから生まれてくる子供たちのための行動である。彼らは私たちが残した世界で生活し、生き残り、繁栄しなければいけないのだから.....

主 宰	誰でもが参画できるくふるさと未来達人倶楽部> (FACEBOOK)
講 師	近澤 可也 (パンデコン建築設計研究所・代表)
定 員	30名
曜日・時間	土曜日 13時00分~14時30分
期 間	平成24年10月13日~10月27日
回 数	全2回
受 講 料	3,000円
会 場	淑徳大学池袋サテライト・キャンパス (JR池袋駅東口から徒歩10分)



[ポイント]

世界人口と工業化と環境汚染と食糧生産と資源消費が、現在の増加傾向のままで推移するならば……「絶滅と崩壊」のシナリオが現実となる。その解決策はあるのか、新しい提案とは？自然エネルギー・ゼロエミッション・エネルギーの地産地消など、今新しい街づくりの構想が求められている。

[講座内容]

- 10月13日：現状の把握、問題提起：地球規模の『文明崩壊』を警告する。
：『成長の限界』：“ローマクラブ”1972.....持続可能な開発とは？
- 10月27日：『“第6の波”——環境・資源ビジネス革命と次なる大市場』：
：『第6の波を形成する5つの重要なコンセプト』：
 - 第1のコンセプト：——“廃棄物はチャンスである”——
 - 第2のコンセプト：“商品でなくサービスを売る「シェアリング」時代”
 - 第3のコンセプト：“デジタル界と自然界は融合しつつある。”
 - 第4のコンセプト：——“原資は地元、ビットは世界に”
 - 第5のコンセプト：“迷ったら自然を見よ”

【講師プロフィール】近澤 可也 (ちかさわ かや)

石川県金沢市出身。地方公務員として石川県で務めたのち、受験のため上京。1961年、東京大学工学部建築学科卒業。東京第学数物系大学院建築学専攻『丹下健三研究室』修士課程卒業。1965年株式会社『パンデコン』設立。代表取締役就任し、『パンデコン建築設計研究所』開設。所長に就任。社団法人農山漁村文化協会『食と農の応援団』団員。一般社団法人『ふるさと未来研究所』代表理事。<<http://www.pandecon.com/>> <<http://www.facebook.com/kayachika/>>

***** 公開講座のお問い合わせは 下記 まで *****

〒171-0022 東京都豊島区南池袋 1-26-9 MYT第2ビル7F「淑徳大学エクステンションセンター」

TEL 03-5979-7061 FAX 03-3988-7470 E-mail ext@ccb.shukutoku.ac.jp